

第二中学校区授業研究会

〔第二中学校、杉の入小学校〕

～第二中学校区で取り組んでいること～

第二中学校区では、「学び合い」を取り入れた授業実践に取り組んでいます。

今年度の授業研究会では、「ジャンプ課題」の設定における教員同士の研修と、児童生徒の「学び」を中心とした授業後の研究協議会を実践しました。

1. 研究授業について



中学1年の社会科。コの字型の授業形態で授業を開始。本時の学習内容について全体で確認しました。生徒は「アマゾンの開発」について近くの仲間と相談したり、資料を探したりする姿が見られました。



4人組の学習形態になり、異なる立場から森林伐採の是非を話し合いました。さらに「森林伐採面積が減っている理由は何か」というジャンプ課題に取り組みました。自分の考えの根拠を明確にして、学び合いを進めました。

2. 研究協議会について



児童生徒と同じように、4人一組で小学校と中学校の教員が本時の授業について話し合いました。生徒の学習がどのように行われたかを振り返り、校種を超えて1つの授業について深く話し合うことができました。



山形大学大学院の森田智幸准教授を講師に迎えて講話をいただきました。「学びのきっかけ」「グループ内での関わり方」について授業の映像を通して、お話いただいたことで、理解を深めることができました。

<授業研究会を終えて>

これまで不十分だった「学び合い」の理念を取り入れた授業を参観したり、指導案の作成に関わったりしたことで、どのような授業をすればよいのかを共通理解することができました。

そこで、以下のように授業改善を推進することとしました。

- ① 児童あるいは生徒をつなぎ、高め合わせるための教材分析や発問の工夫
- ② 「学び合い」を効果的に進めるための、児童・生徒同士のよりよい人間関係づくり